

2003年7月3日

参考人 英 正道

1. 私が憲法前文の改正を提唱する理由

- (1) 現行憲法の功罪
- (2) 日本のアイデンティティ危機の克服
- (3) 「不磨の憲法」でなく「正統性のある憲法」を
- (4) 全面改定か段階的・部分的改定か

2. 新しい憲法前文の果たすべき役割

- (1) 日本の伝統と文化の上に立つ「この国のかたち」を示す役割
- (2) 将来に向けて日本の進路を示す役割
- (3) 現在の閉塞感を破らせる活力を与える役割
- (4) 世界の中で日本の座標軸を明らかにする役割
- (5) 包容力と普遍性のある日本の理念を掲げる役割

3. 私が憲法前文に示すことが適当と考えるこの国のかたちと理想

- (1) 日本の伝統と文化
- (2) 主権在民・民主主義・人権の尊重
- (3) 地球社会の中の日本・相互依存の認識
- (4) 文化多元主義
- (5) 平和の至高性と国際協調

4. その他

- (1) 新前文の持つ教育効果
- (2) 国民参画の新前文作成作業の提唱